

全国質屋組合連合会会員の皆さまへ

質物損害補償制度 のご案内

正式名称：費用・利益保険（ブランドイメージ費用・利益保険特約（全国質屋組合連合会用）セット）

お預かりした質物の損害を補償できる
全質連独自の補償制度です。

加入対象者 全国質屋組合連合会加盟の各都道府県質屋組合に所属する組合員

申込締切日 令和5年**7月28日**（金）

保険期間 令和5年**9月1日**午後4時より 令和6年**9月1日**午後4時まで 1年間

万が一、お預かりしている質物が災害により損壊してしまったら…

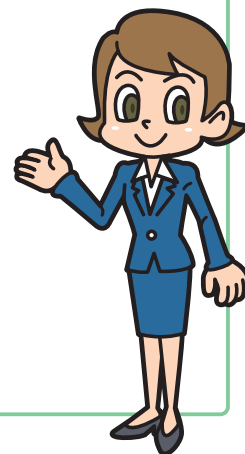
万が一、災害発生によりお預かりしている大切な質物が損壊した際に対応ができなければお客さまの信頼を失いかねません。質屋のブランドイメージの失墜による経営悪化を防ぐために、質物の損害を補償できる保険の加入をおすすめします。

万が一、質蔵に火災が発生したら…

<p>1</p>  <p>質物が火災に見舞われ、被害を受ける</p>	<p>2</p>  <p>質屋の責任ではなかったため、賠償責任保険では対応できない</p>
<p>3</p>  <p>払い出した貸付金の債権も回収できず、弁償しないと質屋のブランドイメージが下がってしまう</p>	<p>4</p>  <p>ブランドイメージを保つため、壊れた質物の修理や、代替品の購入が必要…</p>

POINT

- ① 質物の所有権は質置主にあるため、質屋が火災保険に加入していたとしても保険金請求権は質置主が所有し、**質屋は保険会社へ保険金を請求できません。**
- ② 火災保険によって、質物に対して払い出した債権を回収するには、**保険金請求権譲渡のため、質置主から署名捺印などにより同意を取り付ける必要があります。**



そこで

「質物損害補償制度」をご用意いたしました。

本制度の概要

- 火災・風災・水災によりお預かりしている質物に損壊が発生し、質屋が自身のブランドイメージ回復または失墜防止のために質物の実修理、あるいは代替品を調達したことに要した費用を補償します。
- 損壊した質物に対して払い出していた債権額を限度に保険金をお支払いしますので、債権の回収が可能となります。

補償の対象となる事故



火災

火災および火災の消火活動による水濡れ損害
など



風災

台風、旋風、竜巻、暴風など
(洪水、高潮は除く)



水災

台風、暴風雨、豪雨等による洪水・融雪洪水・高潮・土砂崩れ・落石
など






対象とならない事故

- 落雷、地震、噴火、津波など
- 不可抗力に該当しない（被保険者に過失があった）**「賠償責任あり」の事故**（質屋賠償責任共済*とセットで加入することをおすすめします）

※詳細は取扱代理店または引受保険会社へお問合わせください。

プラン内容

質屋店舗ごとに下記よりプランをお選びいただき、各店舗の「質物在庫高※」をもとに掛金を算出します。

	事故の例	ベーシックプラン	ワイドプラン
 火災	隣家の火災から質屋施設が延焼し、施設内の質物が燃えてしまった。	○	○
 風災	台風による強風のため風雨が流れ込み、質屋施設内の質物が壊れてしまった。	×	○
 水災	豪雨により質屋施設内に浸水し、質物が壊れてしまった。	×	○

※質物在庫高 … 把握可能な直近の会計年度に基づく決算数値(在庫高)

[プラン内容]

プラン名	ベーシックプラン	ワイドプラン	免責金額	
支払対象の事故	火災のみ	火災・風災・水災		
1 事故および 期間中支払 限度額※	500万円	B1	W1	1万円
	1,000万円	B2	W2	
	3,000万円	B3	W3	
	5,000万円	B4	W4	
	1億円	B5	W5	
	2億円	B6	W6	
	3億円	B7	W7	
	5億円	B8	W8	

※引受保険会社が被保険者へ保険金を支払った場合、その被保険者の「期間中支払限度額」は、保険金支払前の「期間中支払限度額」から支払保険金の額を差し引いた残額とします。

証券総支払限度額（保険制度全体の限度額）について

証券総支払限度額：10億円 ※引受保険会社が保険期間中に被保険者へ支払った保険金合計の限度額です。



加入者へ保険金を支払うごとに、支払後の証券総支払限度額の残額は支払前の証券総支払限度額から差し引いた金額となります。

事故① 加入者Aに保険金の支払500万円 ⇒ 証券総支払限度額：9億9,500万円

事故② 加入者Bに保険金の支払1,000万円 ⇒ 証券総支払限度額：9億8,500万円

[掛金確認のステップと掛金例]

Step 1

ご自身の直近会計年度における質物在庫高を確認

Step 2

ご希望の補償内容と支払限度額から、上表のプランの内一つを選択

Step 3

4ページの【掛金表】より、ご自身の掛金額を確認

掛金例

質物在庫高120,000千円、ワイドプラン、支払限度額1億円を選択する場合

パンフレット4ページの【掛金表】より

質物在庫高100,000～199,999千円 加入プランW5を選択 ➡ 掛金：**445,420円**

掛金表

ベーシックプラン

※証券総支払限度額は10億円

プラン名		1事故および期間中支払限度額							
		B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	B8
質物在庫高 (千円)		500万円	1,000万円	3,000万円	5,000万円	1億円	2億円	3億円	5億円
掛 金	0～ 2,999	610円							
	3,000～ 3,999	1,430円							
	4,000～ 4,999	1,840円							
	5,000～ 5,999	2,240円	2,700円						
	6,000～ 6,999	2,650円	3,180円						
	7,000～ 7,999	3,060円	3,670円						
	8,000～ 8,999	3,480円	4,170円						
	9,000～ 9,999	3,880円	4,660円						
	10,000～ 24,999	7,150円	8,580円	11,320円					
	25,000～ 49,999	15,330円	18,400円	24,280円	25,550円				
	50,000～ 74,999	25,550円	30,370円	40,020円	45,800円	48,210円			
	75,000～ 99,999	35,780円	41,500円	54,400円	62,260円	71,570円			
	100,000～199,999	61,340円	74,480円	97,850円	110,990円	132,890円	160,640円		
	200,000～299,999	102,230円	121,070円	158,730円	180,260円	215,230円	255,590円	322,840円	
	300,000～399,999	143,120円	169,490円	222,210円	252,340円	301,310円	357,810円	451,960円	470,790円
	400,000～499,999	184,020円	217,920円	285,710円	324,460円	387,410円	460,050円	581,110円	605,330円
500,000～599,999	224,920円	266,350円	349,220円	396,560円	473,510円	562,300円	710,260円	739,860円	

ワイドプラン

プラン名		1事故および期間中支払限度額							
		W1	W2	W3	W4	W5	W6	W7	W8
質物在庫高 (千円)		500万円	1,000万円	3,000万円	5,000万円	1億円	2億円	3億円	5億円
掛 金	0～ 2,999	2,050円							
	3,000～ 3,999	4,790円							
	4,000～ 4,999	6,150円							
	5,000～ 5,999	7,520円	9,030円						
	6,000～ 6,999	8,900円	10,680円						
	7,000～ 7,999	10,260円	12,320円						
	8,000～ 8,999	11,640円	13,970円						
	9,000～ 9,999	13,000円	15,600円						
	10,000～ 24,999	23,970円	28,770円	37,950円					
	25,000～ 49,999	51,380円	61,660円	81,360円	85,640円				
	50,000～ 74,999	85,650円	101,810円	134,120円	153,520円	161,600円			
	75,000～ 99,999	119,910円	139,100円	182,270円	208,650円	239,820円			
	100,000～199,999	205,580円	249,630円	327,940円	372,000円	445,420円	538,420円		
	200,000～299,999	342,640円	405,760円	531,990円	604,130円	721,350円	856,600円	1,082,020円	
	300,000～399,999	479,710円	568,070円	744,810円	845,800円	1,009,920円	1,199,280円	1,514,880円	1,577,990円
	400,000～499,999	616,770円	730,390円	957,620円	1,087,460円	1,298,460円	1,541,930円	1,947,690円	2,028,850円
500,000～599,999	753,830円	892,690円	1,170,420円	1,329,120円	1,587,010円	1,884,580円	2,380,520円	2,479,710円	

制度運営費について

本制度に加入される場合の掛金は、引受保険会社へ支払う保険料とは別に、制度運営費が含まれています。

加入のお手続き

加入申込票の提出期限	令和5年7月28日(金)まで
保険料払込期日	
保険期間	令和5年9月1日午後4時 ~ 令和6年9月1日午後4時

STEP
1

加入申込票に必要事項を記入のうえ、
全国質屋組合連合会の各都道府県事務局までお申込ください。

STEP
2

掛金を全国質屋組合連合会 各都道府県事務局で取りまとめていただき、
下記口座にお振込みください。

掛金振込先

みずほ銀行 九段支店 普 8041070
全国質屋組合連合会 質屋経営補償共済会代表/角野 大弘

STEP
3

ご加入いただいた会員の皆さまには加入者証を発行いたします。

■中途加入について

締切日以降毎月15日申込締切、翌月1日午後4時補償開始となり、終期は令和6年9月1日午後4時となります。

掛金は加入日から保険終期までの残日数に応じて日割でのご案内となります。

詳細は全国質屋組合連合会事務局、取扱代理店または引受保険会社へお問合わせください。

保険金をお支払いする主な場合および お支払いできない主な場合

○ 保険金をお支払いする主な場合

質屋に下記のような補償対象事由が発生した場合に、ブランドイメージの回復または失墜防止のために損壊した質物の実修理もしくは代替品を購入する際に質屋が被る損害に対して、保険金をお支払いします。

補償対象事由 火災、風災あるいは水災によって、質物が損壊すること。
ただし、被保険者が法律上の損害賠償責任を負担する場合は除きます。

✕ 保険金をお支払いできない主な場合

- ① 保険契約者、被保険者またはこれらの者の法定代理人の故意もしくは重大な過失または法令違反
- ② 戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動
- ③ 地震もしくは噴火またはこれらによる津波
- ④ 核燃料物質もしくは核燃料物質によって汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性またはこれらの特性による事故
- ⑤ 関係者（保険契約者または被保険者の役員をいいます。以下同様とします。）の故意、重大な過失または法令違反
- ⑥ 関係者が単独で、または第三者と共謀して行った窃盗、強盗、背任その他の不誠実行為によって生じた損害
- ⑦ 関係者の心神喪失、自殺行為または闘争行為に起因する損害
- ⑧ 被害者の故意
- ⑨ 被害者の父母、配偶者、子または同居の親族の行為
- ⑩ 被害者の心神喪失
- ⑪ 被保険者が所有する財物に対して被保険者が支出した費用 など

事故が起こった場合は

あいおいニッセイ同和損保あんしんサポートセンターへ事故連絡してください。

あいおいニッセイ同和損保
あんしんサポートセンター

通話料
無料

0120-985-024 [24時間
365日受付]

※IP電話からは0276-90-8852(有料)におかけください。 ※おかけ間違いにご注意ください。

■ 保険金請求時にご提出いただく書類

- 事故報告書
- 保険金請求書
- 損害物の写真 質札に記載されている質物であるとわかるように写真を撮影ください。
- 質物預かり時の払い出し金額(債権額)がわかる資料 質札またはこれに代わる書類 など
- 損壊した質物の代替購入費用または「修理費用」がわかる資料
修理見積書(損害明細書、請求明細書) など
- 支払い証憑 領収書・振込み票等の費用の支出を示す書類 など

【契約概要のご説明・注意喚起情報のご説明】

- この書面は、費用・利益保険、約定履行費用保険に関する重要な事項を説明しています。ご契約前に必ずお読みになり、保険申込書の質問事項にご回答のうえ、記載内容に誤りがないことを確認し、お申込みくださいますようお願いいたします。
- お申込みいただく際には、保険申込書等に記載の内容がお客さまのご意向に沿っていることをご確認ください。
- この書面は、契約に関するすべての内容を記載しているものではありません。詳細については、普通保険約款・特約に記載していますのでご確認ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。
- 保険契約者と被保険者が異なる場合（被保険者が複数にわたる団体契約を含みます）は、被保険者の方にもこの書面の内容をお伝えくださいますようお願いいたします。

契約概要

保険商品の内容をご理解いただくための事項

注意喚起情報

ご契約に際して保険契約者にとって不利益になる事項等、特にご注意いただきたい事項

▼この書面における主な用語についてご説明します。

被保険者	補償の対象となる方をいいます。
保険期間	保険のご契約期間をいいます。
支払限度額	引受保険会社がお支払いする保険金の上限額で、保険証券に記載された金額をいいます。
免責金額	保険金としてお支払いする1事故ごとの損害から差し引く額で、お客さまの自己負担となる金額をいいます。

I 契約締結前におけるご確認事項

1 商品の仕組みおよび引受条件等

(1) 商品の仕組み

契約概要

①費用・利益保険

- ア.この保険は、偶然な事故により被保険者に生じた費用損害および喪失利益損害を補償するものです。
イ.この保険は、費用・利益保険普通保険約款に各種特約をセットしてご契約いただけます。

費用・利益保険普通保険約款 + 各種特約(注)

(注) 契約内容に応じて各種特約がセットされます。

②約定履行費用保険

- ア.この保険は、被保険者が、偶然な事由が生じた場合に、第三者との間で定めている災害見舞金規定、補償規定等に基づき、見舞金を給付することによる費用損害を補償するものです。
イ.この保険は、約定履行費用保険普通保険約款に各種特約をセットしてご契約いただけます。

約定履行費用保険普通保険約款 + 各種特約(注)

(注) 契約内容に応じて各種特約がセットされます。

(2) 補償内容

契約概要

注意喚起情報

①被保険者

保険申込書の「被保険者」欄に記載された方が被保険者となります。ただし、特約によりその他の被保険者が設定される場合がありますので、詳細は普通保険約款・特約をご確認ください。

②保険金をお支払いする主な場合

ア.費用・利益保険

偶然な事故によって被保険者が被る損害（費用損害または喪失利益損害をいいます）に対して、保険金をお支払いします。

イ.約定履行費用保険

被保険者が、偶然な事由が生じた場合に、一定の金銭等の債務を履行する旨の約定を第三者との間であらかじめ行っている場合において、その約定を履行することによって被保険者が被る損害に対して、保険金をお支払いします。

保険金をお支払いする条件は適用される特約によって異なりますので、詳細は普通保険約款・特約をご確認ください。

③保険金をお支払いできない主な場合

次のいずれかに該当する事由によって生じた損害に対しては、保険金をお支払いできません。なお、主なものを記載しておりますので、詳細は普通保険約款・特約をご確認ください。

ア.費用・利益保険

- 保険契約者、被保険者またはこれらの者の法定代理人の故意もしくは重大な過失または法令違反
- 戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動
- 地震もしくは噴火またはこれらによる津波
- 直接であると間接であるとを問わず、サイバーインシデント(注)

(注) サイバーインシデントを補償対象外とする商品があります。詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

など

イ.約定履行費用保険

- 保険契約者、被保険者またはこれらの者の法定代理人の故意または重大な過失
- 被保険者でない者が保険金の全部または一部を受け取るべき場合においては、その者またはその者の法定代理人の故意または重大な過失（ただし、他の者が受け取るべき金額については除きます）

など

※上記以外にもお支払いできない場合があります。保険金をお支払いできない場合の詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」等の項目に記載しておりますので、必ずご確認ください。

④お支払いする保険金

お支払いする保険金は適用される普通保険約款および特約により異なります。詳細は普通保険約款・特約をご確認ください。

(3) セットできる主な特約

契約概要

詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

(4) 複数のご契約があるお客さまへ（補償が重複する可能性のある特約のご注意）

注意喚起情報

他の保険契約等（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約または共済契約を含みます）により、既に被保険者について同種の補償がある場合、補償が重複し、保険料が無駄になることがあります。

補償が重複すると、特約の対象となる事故について、どちらの保険契約からでも補償されますが、いずれか一方の保険契約からは保険金が支払われない場合があります。

補償内容の差異や支払限度額等を確認し、特約の要否を判断のうえ、ご契約ください。

※複数あるご契約のうち、これらの補償が1つのご契約のみにセットされている場合、そのご契約を解約したとき等は、補償がなくなることがありますのでご注意ください。

(5) 支払限度額等

契約概要

お客さまが実際にご契約いただく支払限度額、免責金額につきましては、保険申込書の「支払限度額」、「免責金額」欄にてご確認ください。

(6) 保険期間、補償の開始・終了時期

契約概要

注意喚起情報

① 保険期間

お客さまが実際にご契約いただく保険期間（保険責任の始まる日から終了する日までの期間をいいます）につきましては、保険申込書の「保険期間」欄にてご確認ください。

② 補償の開始時期

始期日の午後4時（保険申込書またはセットされる特約にこれと異なる時刻が記載されている場合にはその時刻）に開始します。

③ 補償の終了時期

満期日の午後4時に終了します。

2 保険料の決定の仕組みと払込方法等

(1) 保険料の決定の仕組み

契約概要

保険料(注)は、支払限度額、保険期間、免責金額等によって決定されます。詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問合わせください。

お客さまが実際にご契約いただく保険料につきましては、保険申込書の「保険料」欄にてご確認ください。

(注) 保険契約者が保険契約に基づいて引受保険会社に払い込むべき金額をいいます。

(2) 保険料の払込方法 契約概要 注意喚起情報

契約概要

注意喚起情報

① ご契約時の保険料は、次のとおりキャッシュレスで払い込むことができます。ただし、ご契約内容によっては、選択できる払込方法に制限があります。また、取扱代理店によっても取扱いができない場合があります。その場合、ご契約と同時に現金で払い込んでいただきます(注1)。詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問合わせください。

主な払込方法 一時払	大口分割払 (注2)	一時払
クレジットカード払 (売上票方式) (注3)	○ (注4)	○

(○:選択できます ×:選択できません)

(注1) ご契約と同時に現金で払い込んでいただく場合には、引受保険会社所定の保険料領収証を発行することとしていますので、お確かめください。

(注2) 一時払保険料が20万円以上の場合に選択できます。口座振替ができるのは12回払のみとなります。

(注3) 費用・利益保険のみ選択できます。

(注4) 初回保険料のみ選択できます。

② ご契約と同時に現金で払い込んでいただく場合、始期日以降であっても、取扱代理店または引受保険会社が保険料を領収する前に発生した事故による損害については、保険金をお支払いできません。

(3) 保険料の払込猶予期間等の取扱い

注意喚起情報

上記(2)①「主な払込方法」により払い込む場合、保険料は払込期日までに払い込んでいただきます。払込期日までに払込みがない場合は、払込期日の翌月末日(注)までに保険料を払い込んでください。払込期日の翌月末日までに保険料の払込みがない場合、保険金をお支払いできません。また、ご契約を解除する場合があります。

(注) 口座振替のご契約については、保険契約者に故意および重大な過失がなかった場合は、払込期日の翌々月末日まで払込みを猶予します。

初回保険料の払込前に事故が発生した場合、原則として、保険金のお支払いには初回保険料の払込みが必要となります。引受保険会社にて初回保険料の払込みを確認後、保険金をお支払いします。

3 満期返れい金・契約者配当金

契約概要

この保険には、満期返れい金・契約者配当金はありません。

II 契約締結時におけるご注意事項

1 告知義務 (ご契約時にお申し出いただく事項)

注意喚起情報

(1) 保険契約者または被保険者になる方には、保険申込書(注)の記載事項について、ご契約時に事実を正確にお申し出いただく義務(告知義務)があります。

(注) ご契約時に引受保険会社にご提出いただく書類で、ご契約に必要な内容を記載した付属書類を含みます。

(2) ご記入いただいた保険申込書の記載事項のうち、次に記載する危険に関する重要な事項について、保険契約者または被保険者の故意や重大な過失により、お申し出いただかなかった場合や、お申し出いただいた事項が事実と異なっている場合には、ご契約が解除されたり、保険金をお支払いできないことがあります(②のみに該当した場合は、保険金のお支払いへの影響はありませんが、ご契約が解除されることがあります)。ご契約に際して、今一度お確かめください。

危険に関する重要な事項	① 保険申込書の※印がついている項目(下記②を除く)に記載された内容 ② このご契約と補償が重複する他の保険契約または共済契約の有無
-------------	-----------------------------------------------------------------------

2 クーリングオフ (ご契約の申込みの撤回等について)

注意喚起情報

この保険は、ご契約申込みの撤回または解除(クーリングオフ)はできません。ご契約内容をお確かめのうえ、お申し込みください。

III 契約締結後におけるご注意事項

1 通知義務等 (契約締結後にご連絡いただく事項)

注意喚起情報

(1) 保険契約者または被保険者は、次に記載する通知事項が発生する場合、あらかじめ(通知事項の発生が保険契約者または被保険者の責任によらない場合は遅滞なく)取扱代理店または引受保険会社まで連絡する義務(通知義務)があります。ご連絡がない場合は、保険期間の途中であってもご契約を解除することや保険金をお支払いできないこと(注)がありますので、ご注意ください。

(注) ご連絡いただいた結果、追加保険料が発生し、かつ、通知事項と事故との間に因果関係がある場合に限りです。

通知事項	① 保険申込書の※印がついている項目に記載された内容に変更が生じる場合 ② 上記のほか、特約において取扱代理店または引受保険会社に通知すべき旨の定められている事実が発生する場合
------	---------------------------------------------------------------------------------------------

(2) その他、次のような事項が発生した場合は、遅滞なく取扱代理店または引受保険会社までご連絡ください。

- ① 被保険者の住所または連絡先を変更した場合
- ② 上記のほか、特約の追加・削除等、契約条件を変更する場合

2 解約と解約返れい金

契約概要

注意喚起情報

ご契約を解約する場合は、取扱代理店または引受保険会社までお申し出ください。解約の条件によっては、引受保険会社の定める規定により保険料を返還、または未払込保険料等を請求することがあります。また、ご契約を解約する場合、払い込んでいただいた保険料が保険証券記載の最低保険料未満のときは、その差額を請求することがあります。なお、返還される保険料があっても多くの場合は、払い込んでいただいた保険料の合計額より少ない金額になりますので、ご契約は継続することをご検討ください。詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

3 無効、失効、取消について

注意喚起情報

下記の事由に該当した場合について、既に払い込んだ保険料の取扱いは以下のとおりです。

- ① 保険契約者が保険金を不法に取得する目的または第三者に保険金を不法に取得させる目的をもって契約を締結した場合は、この保険契約は無効となります。既に払い込んだ保険料は返還できません。
- ② この保険契約が失効した場合、保険期間のうち未経過であった期間の保険料を返還します。詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。
- ③ 保険契約者または被保険者の詐欺または強迫によって契約を締結した場合は、この保険契約は取消しとなる場合があります。既に払い込んだ保険料は返還できません。

4 加入者証の確認・保管

ご加入いただいた後にお届けする加入者証は、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。また、ご加入手続から1か月を経過しても加入者証が届かない場合は、引受保険会社までお問い合わせください。ご加入後に引受保険会社から確認の連絡をすることがあります。

5 調査について

保険契約に関して、必要な調査をさせていただくことがあります。この調査を正当な理由なく拒んだ場合は、ご契約を解除することがあります。

その他、留意していただきたいこと

1 取扱代理店の権限

注意喚起情報

取扱代理店は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理等の業務を行っています。したがって、取扱代理店と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

2 共同保険

複数の保険会社による共同保険契約を締結される場合は、引受保険会社は分担割合または支払限度額に応じ、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。引受幹事保険会社は他の引受保険会社の業務または事務の代理・代行を行います。

3 保険会社破綻時等の取扱い

注意喚起情報

引受保険会社が経営破綻に陥った場合の保険契約者保護の仕組みとして、「損害保険契約者保護機構」があり、引受保険会社も加入しています。この保険は、保険契約者が個人、小規模法人（破綻時に常時使用する従業員等の数が20人以下の法人をいいます）またはマンション管理組合（以下、「個人等」といいます）である場合に限り「損害保険契約者保護機構」の補償対象であり、経営破綻した場合の保険金、解約返れい金等は80%まで補償されます。ただし、破綻前に発生した事故および破綻時から3か月までに発生した事故による保険金は100%補償されます。また、保険契約者が個人等以外の保険契約であっても、被保険者が個人等であり、かつ保険料を負担している場合は、その被保険者に係る部分については、上記補償の対象となります。

4 個人情報の取扱い

注意喚起情報

この保険契約に関する個人情報は、あいおいニッセイ同和損保がこの保険引受の審査および履行のために利用するほか、あいおいニッセイ同和損保およびMS&ADインシュアランスグループのそれぞれの会社（海外にあるものを含む）が、この保険契約以外の商品・サービスのご案内・ご提供や保険引受の審査および保険契約の履行のために利用したり、提携先・委託先等の商品・サービスのご案内のために利用することがあります。

① あいおいニッセイ同和損保およびMS&ADインシュアランスグループ会社の商品・サービス等の例	損害保険・生命保険商品、投資信託・ローン等の金融商品、リスクマネジメントサービス
② 提携先等の商品・サービスのご案内の例	自動車購入・車検の斡旋

上記の商品やサービスには変更や追加が生じることがあります。ただし、保健医療等のセンシティブ情報（要配慮個人情報を含む）の利用目的は、法令等に従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。また、この保険契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先（保険代理店を含む）、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先等（いずれも海外にあるものを含む）に提供することがあります。

○ 契約等の情報交換について

あいおいニッセイ同和損保は、この保険契約に関する個人情報について、保険契約の締結ならびに保険金支払いの健全な運営のため、一般社団法人日本損害保険協会、損害保険料率算出機構、損害保険会社等との間で、登録または交換を実施することがあります。

○ 再保険について

あいおいニッセイ同和損保は、この保険契約に関する個人情報を、再保険契約の締結、再保険契約に基づく通知・報告、再保険金の請求等のために、再保険引受会社等（海外にあるものを含む）に提供することがあります。

詳しくは

あいおいニッセイ同和損保の個人情報の取扱いに関する詳細、商品・サービス内容、グループ会社の名称、契約等情報交換制度等については、あいおいニッセイ同和損保ホームページ（<https://www.aioinissaydowa.co.jp/>）をご覧ください。

5 重大事由による解除

下記のいずれかに該当する事由がある場合には、ご契約および特約を解除することがあります。この場合には、全部または一部の保険金をお支払いできません（下記②の場合で被保険者が暴力団関係者、その他反社会的勢力に該当すると認められない場合を除きます）。

- ① 保険契約者または被保険者が、保険金を支払わせることを目的として損害または費用を発生させた場合
- ② 保険契約者または被保険者が、暴力団関係者その他の反社会的勢力に該当すると認められた場合
- ③ 被保険者が保険金の請求について詐欺を行った場合
- ④ 上記のほか、①～③と同程度に引受保険会社の信頼を損ない、保険契約の存続を困難とする重大な事由を発生させたこと

6 継続契約について

- (1) 著しく保険金請求の頻度が高い等、加入者相互間の公平性を逸脱する極端な保険金支払またはその請求があった場合には、保険期間終了後、継続加入できないことや補償内容を変更させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- (2) 引受保険会社が、普通保険約款、特約、保険料率等を改定した場合、改定日以降を始期日とする継続契約には、その始期日における普通保険約款、特約、保険料率等が適用されます。そのため、継続契約の補償内容や保険料が継続前の保険契約と異なること、またはご契約を継続できないことがあります。あらかじめご了承ください。

7 万一、事故が発生した場合のご注意

(1) 事故の発生

- ① 事故が発生した場合には、遅滞なく取扱代理店または引受保険会社までご連絡ください。ご連絡がないと、それによって引受保険会社が被った損害の額を差し引いて保険金をお支払いすることがあります。
- ② このご契約と補償が重複する他の保険契約等がある場合には、事故のご連絡の際にお申し出ください。

(2) 他の保険契約等がある場合の保険金のお支払い

このご契約と補償が重複する他の保険契約等がある場合、発生した損害に対して既に支払われた保険金の有無によって、引受保険会社がお支払いする保険金の額が異なります。詳細は普通保険約款・特約をご確認ください。

(3) 保険金の支払請求時に必要となる書類等

被保険者には、下表のうち引受保険会社が求める書類をご提出いただく必要があります。
なお、必要に応じて下表以外の書類のご提出をお願いする場合がありますので、ご了承ください。

(1) 引受保険会社所定の保険金請求書（個人情報の取扱いに関する同意を含みます）	
(2) 引受保険会社所定の損害（事故）状況報告書 事故日時、発生場所、事故状況、事故原因等を申告される書類をいいます。また、損害（事故）状況を確認するためにこの報告書のほか（4）①、④に掲げる書類もご提出いただく場合があります。	
(3) 保険金請求権をもつことの確認資料	
書類の例	委任状、印鑑証明書、資格証明書、商業登記簿謄本、法人登記簿謄本、戸籍謄本 など
(4) 損害（費用）の保険金請求に必要な書類	
① 損害（費用）の発生を証明する書類	
書類の例	● 公的機関が発行する証明書（罹災証明書、事故証明書）またはこれに代わる書類 ● 被保険者と第三者との約定を証明する書類 ● 事故原因・発生場所・被害状況の見解書、写真 ● 死亡診断書または死体検案書 ● 医師の診断書 ● 後遺障害診断書 など
② 損害（費用）の額を証明する書類	
書類の例	● 修理見積書、請求明細書、領収書、損害明細書 ● 損害内容申告書 ● 交通費・宿泊費・移送費・通信費等の諸費用の明細書 ● 災害見舞金規定（写）、サービス約款（写）、慰労金給付規定（写） ● 死亡診断書または死体検案書 ● 医師の診断書 ● 後遺障害診断書 ● 損害防止に支出した費用を示す書類 ● 支出した費用の額を示す書類（領収書、請求書） など
③ 利益の損失を証明する書類	
書類の例	● 財務諸表等の決算書類や、売上高（生産高）に関する書類 ● 収益減少防止のために支出した費用を示す書類 ● 減価償却費のデータ等罹災によって支出を免れた経常費に関する資料 など
④ その他の書類	
書類の例	● 権利移転書 ● 調査同意書（引受保険会社が事故または被害の調査を行うために必要な同意書） ● 従業員や構成員の名簿（写）、参加者や顧客の名簿（写） など

(4) 保険金のお支払時期

引受保険会社はお客様より保険金請求書類をご提出いただいてからその日を含めて30日以内に、保険金をお支払いするために必要となる項目の確認を終えて、保険金をお支払いします。ただし、特別な照会または調査が必要な場合には、引受保険会社は普通保険約款・特約に定める期日までに保険金をお支払いします。詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問合わせください。

(5) 保険金請求権の時効

保険金の請求権については時効（3年）がありますのでご注意ください。保険金の請求権が発生する時期等、詳細は普通保険約款・特約をご確認ください。

8 保険金支払後の保険契約

ご契約の保険種類ごとに、保険金のお支払後の保険契約の取扱いが異なります。詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問合わせください。

9 保険料確定特約の内容および注意事項について

約定期間費用保険において、保険料が年間の見込みの活動時間等（以下「保険料算出の基礎数値」といいます）により定められている契約につきましては、年間の保険料算出の基礎数値をもとに算出した暫定保険料によりご契約いただき、保険期間終了時に確定保険料との差額を精算（確定精算）いただく契約方式（以下「確定精算方式」といいます）と、ご契約時に把握可能な最近の会計年度の保険料算出の基礎数値をもとに算出した保険料によりご契約いただき確定精算を省略する契約方式があります。

確定精算を省略する方式を選択（「保険料確定特約」をセット）された方は、次をご確認いただき、保険申込書の「申込人（保険契約者）」欄に押印をお願いします。

※確定精算を省略する契約方式をお取扱いできないご契約もあります。詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問合わせください。

(1) 保険料算出の基礎について

- ① 保険申込書の「保険料算出の基礎」欄には、ご契約時に把握可能な最近の会計年度の保険料算出の基礎数値をご申告（記入）ください。
※ご申告いただいた数値を立証できる書類をご提出いただく場合があります。
- ② 保険の対象となる保険料算出の基礎数値が複数となる場合にはそれぞれの数値をご申告いただき、「保険料算出の基礎」欄には合計の数値をご申告（記入）ください。

(2) 確定精算を省略する方式（保険料確定特約）に関する注意事項について

- ① 保険期間中に確定精算方式への変更はできません。
- ② 保険期間終了時に保険料算出の基礎数値が減少・増加した場合でも、保険料の返還・請求はいたしません。
- ③ お申込み時にご申告いただいた保険申込書記載の保険料算出の基礎数値は、現時点で把握可能な最近の会計年度の数値に相違ないかご確認ください。数値に誤りがあった場合には、ご契約が解除されたり、保険金をお支払いできない場合がありますのでご注意ください。
- ④ 保険期間中の保険料算出の基礎数値が、ご申告いただいた数値を著しく上回るまたは下回る見込みがある場合（注）には、この特約はセットできません。
（注）企業買収・部門売却等の予定がある場合（保険料算出の基礎数値が著しく変動することが明らかな場合）、季節的または一時的な営業期間を保険期間とするご契約には、この特約はセットできません。
- ⑤ ご契約が保険期間中に解除・解約された場合（中途更改を含みます）には、確定精算を行わず、普通保険約款・特約に定める方法に従い、保険料を返還・請求いたします。
詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問合わせください。

10 最低保険料について（確定精算方式の場合）

前記「9 保険料確定特約の内容および注意事項について」で確定精算方式を選択いただいた場合で、保険期間終了時に算出された確定保険料（年額）が保険証券記載の最低保険料未満のときは、暫定保険料と最低保険料との差額を精算いただきます（別に約定した場合を除きます）。詳細は取扱代理店または引受保険会社までお問合わせください。

保険会社等の連絡・相談・苦情窓口

引受保険会社へのご相談・苦情がある場合は

あいおいニッセイ同和損保カスタマーセンター

通話料
無料

0120-721-101

受付時間／平日9:00～17:00

※土日・祝日および年末年始は休業させていただきます。

事故が起こった場合は

あいおいニッセイ同和損保あんしんサポートセンター

通話料
無料

0120-985-024 [24時間
365日受付]

※IP電話からは0276-90-8852(有料)におかけください。

※おかけ間違いにご注意ください。

指定紛争解決機関

注意喚起情報

引受保険会社との間で問題を解決できない場合

引受保険会社は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。引受保険会社との間で問題を解決できない場合には、一般社団法人日本損害保険協会にご相談いただくか、解決の申し立てを行うことができます。

一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター



0570-022-808 [全国共通
通話料有料]

受付時間／平日9:15～17:00(土日・祝日および年末年始を除きます)

・電話会社の通話料割引サービスや料金プランの無料通話は利用できません。

・携帯電話からも利用できます。

・電話リレーサービス、IP電話からは03-4332-5241におかけください。

※おかけ間違いにご注意ください。

※詳細は、一般社団法人日本損害保険協会のホームページをご覧ください。

(<https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/adr/index.html>)

●この保険は、全国質屋組合連合会を保険契約者とし、全国質屋組合連合会加盟の各都道府県質屋組合に所属する組合員を加入者とする費用・利益保険の団体契約です。

●費用・利益保険の「普通保険約款・特約集」、保険証券は保険契約者(全国質屋組合連合会)に交付されます。

●この冊子は「ブランドイメージ費用・利益保険」の概要を説明したものです。詳しくは「普通保険約款・特約集」をご用意していますので、取扱代理店または引受保険会社までご請求ください。ご不明な点につきましては、取扱代理店または引受保険会社にお問合わせください。

●「ブランドイメージ費用・利益保険」は「費用・利益保険(ブランドイメージ費用・利益保険特約セット)」のペットネームです。

制度に関するお問合わせ先

全国質屋組合連合会

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-2-1 TEL:03-3265-0824 FAX:03-3262-7025

取扱代理店

〔損害保険部分に関する
お問合わせ全般〕

ウインプランニング有限会社

〒343-0015 埼玉県越谷市花田4-20-35 TEL・FAX:048-964-6463

引受保険会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 広域法人開発部営業課

〒103-8250 東京都中央区日本橋3-5-19 TEL:050-3460-8162 FAX:03-6734-9609